



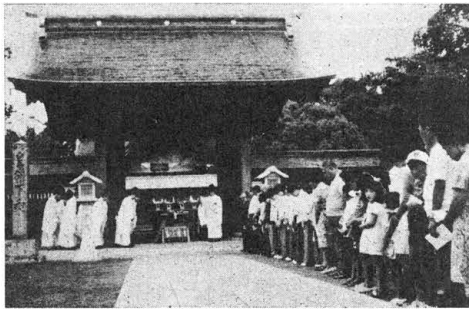
毎月十五日発行 発行所 宗像大社 定価 一年送料共 1000円

神具 装束 株式会社 井筒 本社 九州店 福岡市博多区東公園

昭和五十四年度

大被式・夏越祭齋行

一 猛暑の中、古儀に則り半年間の罪・穢を祓う神事



当社社叢の祭典を恒例の 神門前にて、大被式が行われ、引地区の総代、地元協力団の人等...

論説 戦争の勝敗と人間味

水師宮回顧から

いさか風な機運であるが、敢てこう表現する。第、世界戦争の結末が善くも悪くも...

特別展 「玄界灘 海への祈り」

既取のごく宝物類は七月二十九日から八月十六日まで約一月に亘り...

「御札」

当社恒例の夏越祭神事齋行に当りましては、郡内氏子各位並に全宗...

宗像大社 宮司 葦津嘉之

この方面の作戦で、インバルが有るにたは、もう維持が近くなつてからである...



Table with columns for names and titles of poems, including '阿蒙少言' and '第三回 宗像大社歌会詠草'.

少年達熱心に見るテレビ番組は興味を誘う。この頃クイズの編成にも主役になつた。...

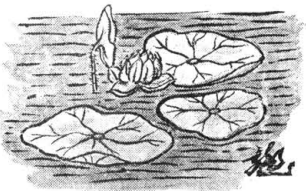






宗像大社歌会 俳句作品集(一九)

福岡 人江 文字 梅雨寒のほつれ茶あし留守居かな さやかにトト色なす花の数



田熊 安部 ゆき 陸奥や最前列で巨画描く

田熊 安部 ゆき 陸奥や最前列で巨画描く 田島 吉武 武雄 かのの輪の奥ひほかに夏祭り

浜の寄物 (24)

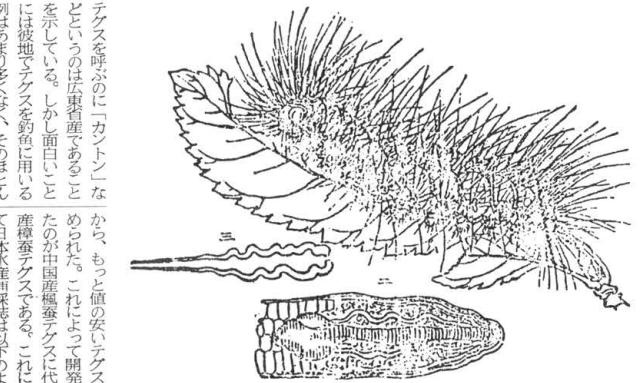
軍艦出雲—ある巡洋艦の生涯 四

「敵艦、リトリックの沈没...」 六隻、救助者は六十名にのぼった。...

鐘崎民俗誌 その十六

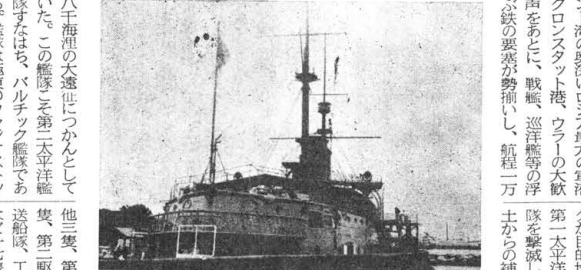
テグス

「今ももう使ひあせません、はつきり覚えておられますが、たしか、あはれは天然と言ひましたかな。...



鐘崎—日本水産捕撿誌より

代祭祀のまゝある。参拝が終り、松本権柄の案内で参道遺跡を巡り、再び長い急勾配の階段を下り、正三位の所へ出た。...



八千海軍の大艦世につかへて

八千海軍の大艦世につかへて 一、船中ば、フスマンと称へる鳥嶋(いもむ)に、...

我が国の一本釣漁法の技術水準が格段に高度であつたころから、高価なテグス輸入が必要とされた。...

宗像大社歌会 第八回 宗像大社献詠短歌大会開催要項決定
【要項】 一、期日 昭和五十四年十一月十日(月曜日)午前十一時三十分開始
二、会場 宗像大社開成
三、大会次第 一、開成 二、主催者挨拶 三、表彰式 四、選者紹介 五、選考方法説明 六、贈答 七、相報 八、入選歌発表 九、表彰式 十、閉成